



種名：オイカワ *Opsariichthys platypus*

分類：在来種 純淡水魚

○大きさ

- ・成魚：12～15cm

○生息箇所（すみか）

- ・利根川の下流から上流や霞ヶ浦に広く生息しています。
- ・ながれのある砂底や礫底(小石)をこのみます。

○生態（どんな生活をしているか）

- ・付着藻類（石に生えるも）を中心にした雑食性で何でも食べる。
- ・初夏から夏(5～8月)に礫(小石)に産卵する。繁殖期(はんしょくぎ)のオスは青と赤の鮮やかな色(婚姻色)になります。

○釣りや漁業

- ・ウキ釣り(餌づり)や毛ばりでよく釣れる。餌は練り餌がよく使われる。
- ・漁業や水産利用(すいさんりょう)はありません。

○地域利用

- ・婚姻色が美しいため、観賞用(かんしょう)としても人気です。
- ・利根川下流部ではオイカワを利用する郷土料理はありません。
- ・唐揚げや南蛮漬け、塩焼きや甘露煮等として利用される。